

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2555 号

A pilot study to evaluate the potential therapeutic effect of hydrogen-water bathing on atopic dermatitis in humans

「ヒトのアトピー性皮膚炎治療における水素水浴の有用性評価」に関するパイロットスタディ

胡 愛玲 (こ あいれい)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本研究は、アトピー性皮膚炎 (Atopic Dermatitis: AD) 患者を対象としたパイロットスタディにおいて、水素水浴 (Hydrogen-Water Bathing: HWB) が AD 治療に有効である可能性を示唆した。

【新規性、創造性】 AD 発症や増悪には酸化や炎症反応が深く関与している。水素分子は優れた抗酸化と抗炎症作用を持っていることから、著者はこの作用の AD 治療に対する可能性に着目した。本研究は HWB が AD に対する新たな治療法として有効であることを初めてヒト AD 患者で示唆したものである。

【方法・研究倫理】 AD に対する HWB の効果は 8 週間の AD 患者 (5 名) の HWB で評価した。その治療効果の特異性は HWB を 4 週間実施、2 週間中止、さらに 4 週間再開した別の AD 患者 (1 名) で検証した。皮膚症状は肉眼的観察、痒み強度、および皮膚水分喪失量 (乾燥肌の指標) の 3 項目で評価した。本研究は、ヘルシンキ宣言および人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に準拠し、研究内容は医療法人光陽会倫理委員会によって承認された (KEC-2017-01)。

【学術的意義】 現現在までに知られている AD 治療のほとんどはステロイド剤であり、大量または長期間の使用により重篤な副作用を起こす可能性が高い。本研究は HWB を習慣化することにより AD を効果的に治療できる新たな治療法としての可能性を示唆した。

【考察・今後の発展】 本研究成果を確かな結論として導くためには、将来的に大規模ランダム化比較試験が必要である。本研究は今後の大規模臨床試験に対しても有益な情報を提供するものである。また、本研究は AD に苦しむ多くの患者にこれまでの治療に加え、HWB という新たな治療法の可能性を提示し、AD 治療法の選択肢を増やす有益な研究と考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。